

【悪魔】 入学式や卒業式で日の丸の国旗を揚げたり、君が代の国歌を歌ったりすることに對して、いろいろな意見があるようですね。なぜ賛成反対であそこまで議論が起きるのですか？国旗や国歌は昔からあるものでしょう？

【天使】 日本の国旗や国歌は、かなり最近まで明文の法律がなく、戦前の国旗や国歌である日の丸・君が代を慣習上維持してきた、というのが形式的な原因だが、より実質的な原因としては、日の丸や君が代は戦前の軍国主義の象徴として敬意を払うことを強制されてきた、という歴史があるからだ。戦争が終わって半世紀以上経っているが、日の丸や君が代に對して敬意を払うことに抵抗を感じる人たちがいたとしても、やむを得ない事情があるわけだ。

【悪魔】 でも、そうだとすると、生徒たちには、日の丸や君が代は軍国主義の象徴だから、国歌や国旗であっても敬意を払う必要はない、と教えることになるのですか？

【天使】 かつて軍国主義の象徴とされていた

悪魔と天使の 法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第2話

式典での国旗と国歌

ものをそのまま使うことは、軍国主義を暗黙のうちにも認めることにほぼ等しい。平和主義の思想を真に教育するための第一歩として、戦前の軍国主義の遺物を否定することは、平和主義の教育のために避けられないことなのだ。

【悪魔】 戦前の慣習や象徴を否定したから今の日本が平和主義だ、ということにはならないでしょう。平和主義で一番大事なことは、自分の国と相手の国を同じように大切に考えることで、そこには、自分の国に對して誇りを持つことが含まれるはず。人生の節目となる入学式や卒業式で、みんなで国旗や国歌に敬意を払うことで、自分の国、さらには相手の国を大事に考えるようになっていくわけです。自分の国の国旗や国歌に敬意を払わない国民は、同じように相手の国の国旗や国歌に對しても敬意を払わないようになるか、あるいは、自分の国はダメな国だと思ってしまうことになりかねませんから、本当の意味で平和主義を実践できるとは、ちょっと信じられない気がしますねえ。

ところで、入学式や卒業式での日の丸や君が

代の取り扱いをめぐって、教員と学校との間で裁判が起こったりしているようですが、何が争われているのですか？

【天使】 事件によって多少異なるが、最近では、学校の式典で国歌や国旗に対して敬意を表する行動をとることを求める学校長等からの職務命令を、教員が違法だと主張して争うことが注目されているようだ。

【悪魔】 そんなことを「職務命令」として出さなければいけないほど学校の行事は荒れているんですか？ 昔は生徒が騒いで式の進行を妨げることが問題になっていましたが、今は教員の方が騒いでいるということですかね。

【天使】 別に騒いでいるわけではない。国歌や国旗に対する敬意を「職務命令」によって強制することが違法だと主張しているだけだ。

【悪魔】 でも、校長がそんな命令を出すのは、そうしなければならぬような行動をとる教員がいるからでしょう？ みんなが起立している



時に自分だけ座っていたり、みんなが歌っている時に自分だけ歌わなかったり、式の進行に必要な仕事をしなかったりすることは、式の雰囲気をかき乱すことですよ。少なくとも、日の丸や君が代に敬意を払っている人たちに対しては、明らかに喧嘩を売っていますよね。

【天使】 式典の進行が少々妨げられたとしても、人の思想信条に関わることを強制することは絶対に許されない。自らの思想信条のために断固闘う姿勢を見せることは、教員としての生徒たちへの教育という面でも重要なことだ。

【悪魔】 自分の思想信条に合うか合わないかとは別に、静かに行われている式の雰囲気を守ることは、「教員」というより「大人」として最低限必要なことだと思いますよ。だいたい、入学式や卒業式は、入学や卒業をする生徒たちの人生の節目を祝うために行われるもので、教員は主役じゃないはずでしょう？ 自分の考え方に合わないからといって式の進行を混乱させて問題を起す教員の姿は、生徒たちの目からどのように見えているんでしょうかかねえ。